

## スクミリングガイに登録のある主な農薬

薬 剤 名		コード：成分	使用量	注 意 事 項
植代前 施用剤 (殺 貝)	石灰窒素	その他： 石灰窒素	20～30kg/10a	(1) 石灰窒素による防除の注意事項参照。 (2) 漏水を防止する。 (3) 散布時には、周辺作物への飛散に注意する。 (4) 隣接圃場への流入に注意する。
			30kg/10a	
育苗箱施用 (食害防止)	パダン粒剤 4	14：カルタップ <sup>®</sup>	60～100g/箱	(1) 水産動植物への影響に注意する。 (2) 使用時期：は種前又は移植当日
本田施用剤 (殺 貝)	スクミノン	8(他)：メアルデ <sup>®</sup> ヒド <sup>®</sup>	1～4 kg/10a	(1) 処理後は水を止めて浅水(3～4cm 程度)で3～4日保つ。パダン粒剤4は魚毒に注意する。 (2) 使用時期 スクミノン：収穫60日前まで(2回以内) ジャンボたにしくん：収穫60日前まで(2回以内) スクミノンベイト3：発生時 パダン粒剤4：収穫30日前まで(6回以内) (3) スクミノン、ジャンボたにしくん、スクミノンベイト3を処理した場合は、他の本田施用剤は1週間程度経過してから散布する。
	ジャンボたにしくん	8(他)：メアルデ <sup>®</sup> ヒド <sup>®</sup>	1～2 kg/10a	
	スクミンベイト3	Un：磷酸第二鉄	2～8 kg/10a	
無人航空機 による散布	スクミンベイト3 スクミノン	Un：磷酸第二鉄 8(他)：メアルデ <sup>®</sup> ヒド <sup>®</sup>	2～8 kg/10a 1～4 kg/10a	
本田施用剤 (食害防止)	パダン粒剤4 上記薬剤及びその 混合剤(登録に留意する)	1：カルタップ <sup>®</sup>	4 kg/10a	
刈取後 施用剤 (殺 貝)	石灰窒素	その他： 石灰窒素	20～30kg/10a	(1) 石灰窒素による防除の注意事項参照。 (2) 散布時には、周辺作物への飛散に注意する。 (3) 隣接圃場への流入に注意する。 (4) 漏水を防止する。 (5) 水温 15℃以上の時期

※1 ラベルに記載された使用方法等を遵守すること。

表中の成分名の前の数字(記号)は作用機作による分類コードを示す。

※2 注意事項

ア 効果を高めるためには、水中遊泳など貝の活動開始を確認してから石灰窒素を散布することが大切である。

イ 漏水田(または減水深の大きい水田)では効果が劣るので、事前に代かき等を行い漏水を防止しておく。

ウ 散布後は、水のかけ流しをしない。(効果の低下)。

エ 散布後、3～4日間(代かきが終わるまで)は落水しない。また、途中で水がなくならないよう、十分量湛水しておく。

オ ただし、湛水深が深すぎると、効果の低下につながる。

カ 水稻刈取後の散布では、水温 15℃以上の時期までの効果が高いため、散布時期が遅れないように注意する。

キ 石灰窒素は、肥料分として窒素を 20%含むので、田植前散布では石灰窒素の窒素成分は基肥として換算する。

愛媛県 HP の「農作物病虫害等防除指針(令和7年)」の 54～56 ページに「スクミリングガイの防除法」が掲載されていますので、ご参照ください。  
【URL: <https://www.pref.ehime.jp/uploaded/attachment/144875.pdf>】